

◎ 社会部門（小）

1 行事及び内容

(1) 研究主題「持続可能な社会の創り手を育てる社会科学習」

(2) 研究内容

- ①「持続可能な社会の創り手」を育てるための有効な教材の開発
(地域素材を取り入れた単元デザインの工夫、単元で身に付けさせる知識・技能と社会的な見方・考え方を明確にした単元構造図の作成)
- ②「持続可能な社会の創り手」を育てる学習モデルの検証
(「自分のこと」として焦点化していく学習問題、広がりや深まりを促す学び合い)
- ③「持続可能な社会の創り手」への成長を客観的に評価する方法の確立
(考えの変容を捉えられる振り返りの活用)
- ④「持続可能な社会の創り手」を効果的に育てるカリキュラムの確立
(小中間のスムーズな学びの接続を図る小中連携 縦のカリキュラム)

(3) 研究経過

- ① 6月10日（金） 第1回研究委員会（小中合同）
研究の方向性、研究組織、年間事業計画
- ② 11月25日（金） 小学校社会部門研修会 会場 天草市立河浦小学校
公開授業 授業研究会 5年「日本の工業生産の今と未来」
授業者 天草市立河浦小学校 川畑 陽明 教諭
実践発表 5年「水産業のさかんな地域」
発表者 天草市立本渡北小学校 緒方 大将 教諭
指導助言
助言者 天草市立栖本中学校 有馬 恭彦 校長
- ③ 2月 3日（金） 全国小学校社会科研究協議会研究大会熊本大会
会場 熊本市立砂取小学校
学年別課題研究会実践発表 5年「水産業のさかんな地域」
発表者 天草市立本渡北小学校 緒方 大将 教諭
- ④ 2月17日（金） 第2回研究委員会（小中合同）
研究経過報告 本年度の反省 来年度の志向

※ 小学校社会部門研修会公開授業の構想案検討会及び全国大会実践発表原稿等の検討会を合わせて、「ここらす」を会場に9回実施した。

2 本年度の成果と課題

本年度は、2月の全国小学校社会科研究大会熊本大会に向けて、研究主題「持続可能な社会の創り手を育てる社会科学習」を具現化するため実践を進めてきた。11月には3年ぶりに公開授業を開催し、授業研究会では活発な意見交換が行われた。参加者からは、「児童同士で意見を伝え合い、自分の考えを主張できていてとてもよかった。タブレットも有効に活用して子どもたちも使いこなしていた」、「小学校の先生方の意見に加え、中学校の先生方から専門的な意見も聞くことができ、新しい学びがあった。学校に持ち帰り自分の実践に生かしたい」等の感想があり、好評であった。

来年度は、全国大会での発表を受け、県大会が八代市で行われる予定である。さらに県の理論を受けて天草支部の研究を深めていきたい。また、教科書や資料を有効に活用して楽しく学び合う社会科の授業づくりという視点での研修も引き続き行っていきたい。

